

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】

平成30年 6月11日(月)

10:00 ~ 11:45

金沢河川国道事務所

2階会議室

<議事次第>

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 議題

(1) 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（報告）

・ 石川県部会開催の概要

・ 高校生向けの取り組み紹介 [石川県] など

(2) 平成30年度の取り組み予定

・ 担い手カレンダー石川版

(3) 意見交換等

4. 閉会

<配付資料>

・ 議事次第

・ 出席者名簿、メーリングリスト

・ 配席図

・ (資料1・2) 設立趣旨、規約・構成員

・ (資料3) 平成29年度 石川県部会の概要

・ 平成29年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（石川県部会関係抜粋資料）

(資料4) 石川県の建設分野の労働力需給状況等

(資料5) 平成29年度 石川県部会の取り組み

(資料6) 平成29年度 高校生向けの取り組み [石川県]

(資料7) H30.2.1 協議会における主な議事

・ (資料8) 平成30年度の取り組み予定、担い手カレンダー

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 石川県部会

第1回部会 出席者名簿

平成30年6月11日(月)

	所 属	役 職	部会員	(代理)	出欠	随行等
1	(一社)日本建設業連合会	北陸支部 総務委員	松井 正人	宮森 禎之	○	平本 慶枝
2	(一社)石川県建設業協会	常務理事	地中 浩		○	
3	(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	北川 隆明		○	
4	(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	新家 久司		○	
5	(一社)石川県測量設計業協会	副会長	磯野 秀和	専務理事 黒木 康生	○	
6	(一社)石川県地質調査業協会	会長	尾蔵 博	技術・安全委員長 玉村 清文	○	
7	金沢大学 地社・環境デザイン4F	教授	宮島 昌克		欠	
8	金沢工業大学 工学部環境土木工学科	教授	徳永 光晴		○	
9	石川県立大学環境科学科	教授	瀧本 祐士		欠	
10	石川工業高等専門学校環境都市工学科	教授	重松 宏明		○	
11	石川県立小松工業高等学校	校長	林 純一郎	古澤 清尚	○	
12	金沢市立工業高校	校長	小酒 正明		○	
13	石川県立羽咋工業高等学校	校長	稲垣 裕		○	
14	石川県立翠星高等学校	校長	稲葉 幹雄	根石 修	○	
15	石川労働局 職業安定課	課長	越野 桂一		○	
16	建政部	計画・建設産業課長	愛内 友治		欠	
17	金沢河川国道事務所	事務所長	◎ 山田 哲也		○	
18	石川県 土木部	監理課長	柚森 直弘	専門員 中 健紘	○	
19	石川県教育委員会 学校指導課	主任指導主事	蓮本 英樹		○	

◎部会長

事務局	金沢河川国道事務所	副所長(河川担当)	大角 一浩	
	金沢河川国道事務所	副所長(道路担当)	安達 志郎	
	金沢河川国道事務所	工事品質管理官	古山 利也	
	金沢河川国道事務所	品質確保課長	渡邊 和俊	

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第 1 条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第 2 条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第 3 条 協議会の構成員は、別紙 1 のとおりとする。

（座長）

第 4 条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第 5 条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第 6 条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙 2 に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙 2 のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(事務局)

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

附 則 この規約は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 この規約は、平成30年2月1日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	環境調整官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長

34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長
44	石川県立大学 生産資源環境学部 環境科学科	

◎ : 座長

○ : 部会長

新潟県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 新潟県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 新潟県測量設計業協会	副会長
5	新潟大学 工学部 建設学科	
6	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
7	長岡工業高等専門学校 環境都市 工学科	
8	新潟工業高校	校長
9	新発田南高校	校長
10	新潟労働局	職業安定課長
11	○北陸地方整備局	環境調整官
12	建政部	建設産業調整官
13	信濃川河川事務所	事務所長
14	新潟国道事務所	事務所長
15	北陸技術事務所	事務所長
16	新潟県	土木部副部長 (監理課長)
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
18	新潟県教育委員会	義務教育課長
19	新潟市	技術管理課長
20	(一社) 新潟県地質調査業協会	理事
21	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事長

○ : 部会長

富山県部会会員名簿

No.	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学	学長補佐
6	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	富山労働局	職業対策課長
13	南砺福野高校	農業環境科長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

石川県部会会員名簿

No.	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 石川県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 石川県測量設計業協会	専務理事
5	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
6	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
7	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
8	小松工業高校	校長
9	金沢市立工業高校	校長
10	石川労働局	職業対策課 事業所給付監査官 地方職業指導官
11	建政部	計画・建設産業課 課長
12	○金沢河川国道事務所	事務所長
13	石川県	土木部 監理課長
14	石川県教育委員会	学校指導課 課長補佐 課長
15	石川県教育委員会	学校指導課—指導主事
16	(一社) 石川県地質調査業協会	会長
17	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事
18	羽咋工業高等学校	校長
19	翠星高等学校	校長
20	石川県立大学生産資源環境学部 環境科学科	

○：部会長

H29年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会 開催報告【第一回石川県部会】

- 6月2日に産学官が連携した「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】」を開催しました。1月31日の本協議会意見を踏まえて、今年度の県部会の具体的な取り組み方針について意見交換を行いました。
- 参加機関からは、この春の建設分野における就職の現状についての報告がなされ、学生側が興味のある、仕事のやりがいや処遇改善の取り組みなど、「働き方改革」に関するアピールを進めて行くことが重要であるとの意見が出されました。
- 各機関からは、H29年度の取組予定などの紹介され、**昨年同様、産学官が協力して様々な取り組みを進めていくことを関係者で合意しました。**

開催概要

【日 時】平成29年6月2日（金） 15:00～16:30

【開催地】金沢河川国道事務所

【出席機関】

【行政】 金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部・教育委員会
【建設産業】 日建連北陸支部、石川県建設業協会、建設インフラツタ協会
北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会
【教育】 金沢大学、金沢工業大学、金沢市工高、石川県立羽咋工高・翠星高校、石川県立大学(H29年からワザバ参加)

会議の主な発言要旨

- H28年度は、大学関係では卒業生が全てが土木分野の企業に就職してくれた。高校でも企業側の求人も高く、ここ20年間で就職をした学生が一番多い年であった。（斎藤委員、川村委員、小酒委員、塩田委員）
- 業界では、女性技術者を別枠で採用している。環境や機械等、建設分野以外の採用も進めており、普通高校の学生により補っている企業や県外の学生で採用を補填している企業もある。（松井委員、地中委員、新家委員、尾蔵委員）
- H29年度は福祉分野と連携し、県内の普通高校56校全てを周り、建設業界に目を向けてもらうPR活動を取り組む予定である。（念介委員代理）
- 学生の情報系学科の人気は高い。コンサルでも情報系学生のニーズもあるが、現場の即戦力を期待する面もあり採用には二の足を踏む。（川村委員、新家委員）
- 環境系学部から建設分野に就職してもらうには、学生の知識に併せて、1年生から継続的な働きかけが重要。（瀧本オプザーバー）
- 今年度も連携を取りながら、取組を進めていくことを確認。（参加各機関）

開催状況



＜ 富山・石川県部会長あいさつ ＞



＜ 各委員の討議状況 ＞

H29年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会開催報告【第二回石川県部会】

- 12月14日に産官学が連携した「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第2回石川県部会】」が開催され、今後各機関の実施結果の紹介と次年度に向けての意見交換が行われました。
- 参加機関からは、**建設系学科を修学した生徒の建設分野への就職率が向上**してきているなど、協議会の取り組みに手応えを感じる一方、**中学生や保護者など一般の方々を含めたアプローチにはまだまだ課題がある等の意見**が出されました。
- 各機関からは、H30年度の取組予定などの紹介され、**本年同様、産学官が協力して様々な取り組みを進めていくことを関係者で合意**しました。

開催概要

【日 時】平成29年12月14日（木） 15:00～16:30

【開催地】金沢河川国道事務所

【出席機関】

【行政】 金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部・石川県土木部・教育委員会
【建設産業】 日建連北陸支部、建設コンサルタツ協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会、日道建北陸支部
【教育】 金沢大学、金沢工業大学、石川高専、金沢市工高、石川県立羽咋工高、小松工高、翠星高校、石川県立大学（ワザン・参加）

会議の主な発言要旨

- オープンキャンパス等の参加状況を見ると、建築に比べ、土木の魅力が浸透していないと感じる。官民が協力して社会、家庭、高校生、中学生へ土木の魅力をもっと真剣に発信すべきだと感じる。（川村委員、斉藤委員）
- 建設関係団体の支援を受け、体感型の現場見学会の実施、コンベの参加など、生徒が自分で考え、身近に建設業を感じる取り組み等、建設業への就業率の向上に努めている。引き続き支援をお願いしたい。（小酒、塩田、稲葉委員、古澤代理）
- 新卒の建設業の就業者の約7割が非建設系高校の卒業者であり、県内全55の普通高校を訪問し、保護者、教員も含め、将来の進路を見据えた活動を進めている。今後は中学校まで拡大した取り組みの必要性は感じている。（念介代理）
- 建設系学生の建設分野への就職率向上は、協議会活動の手応えの1つとして感じるが、建設界の入口である中学生や社会一般への建設分野のPRはまだまだ難しい部分でもある。引き続き、連携して取り組んでいく必要がある。（参加各機関）

開催状況



＜富山・石川県部会長あいさつ＞



＜各委員の討議状況＞

石川県の建設分野の労働力需給状況等

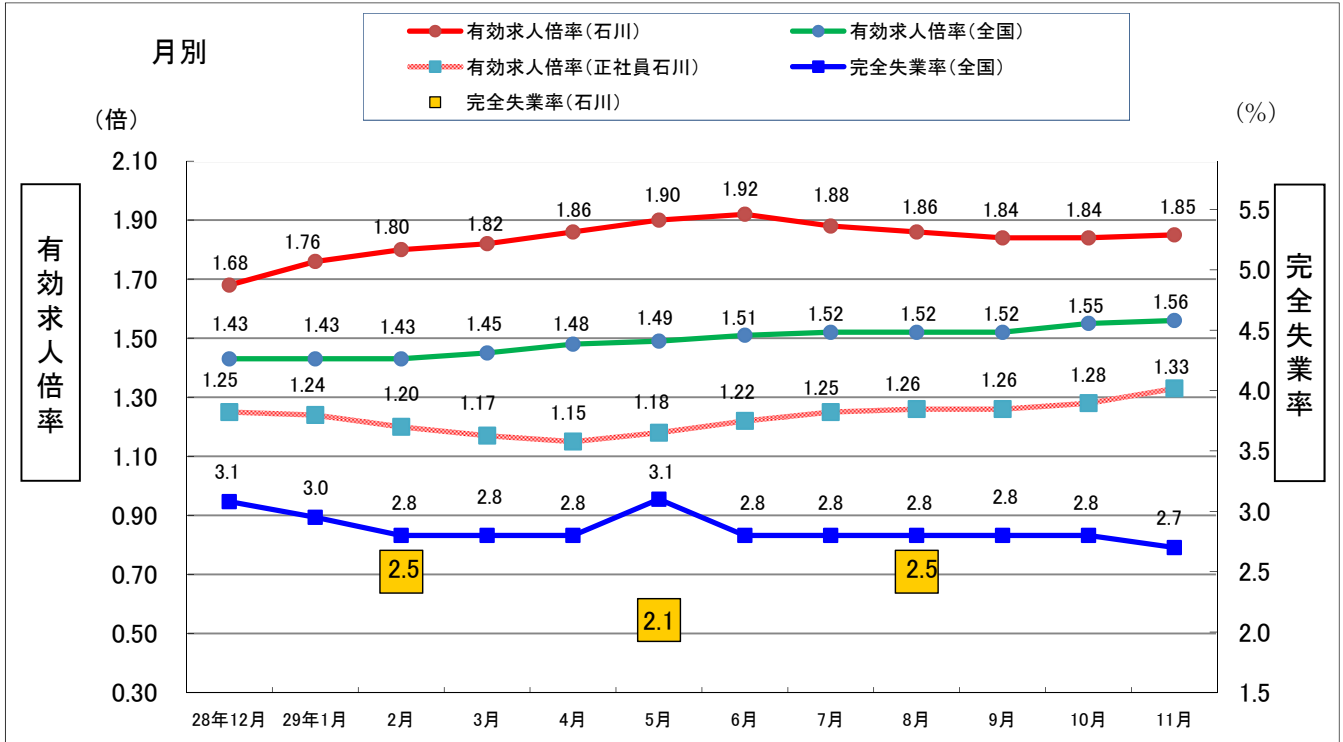
平成30年 2月 1日

石 川 労 働 局

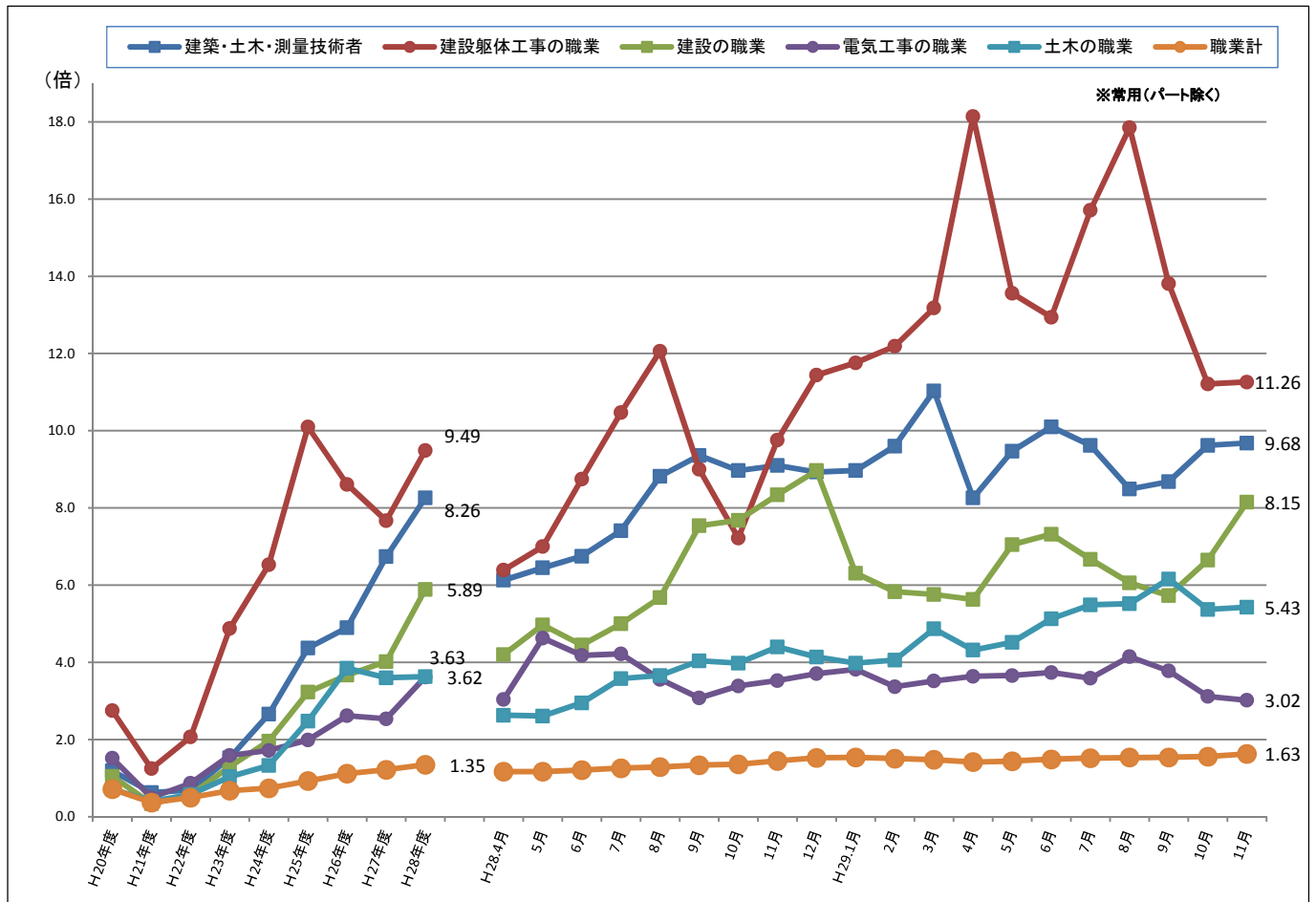
石川県の建設分野の労働力需給状況等

平成29年12月 石川労働局作成資料

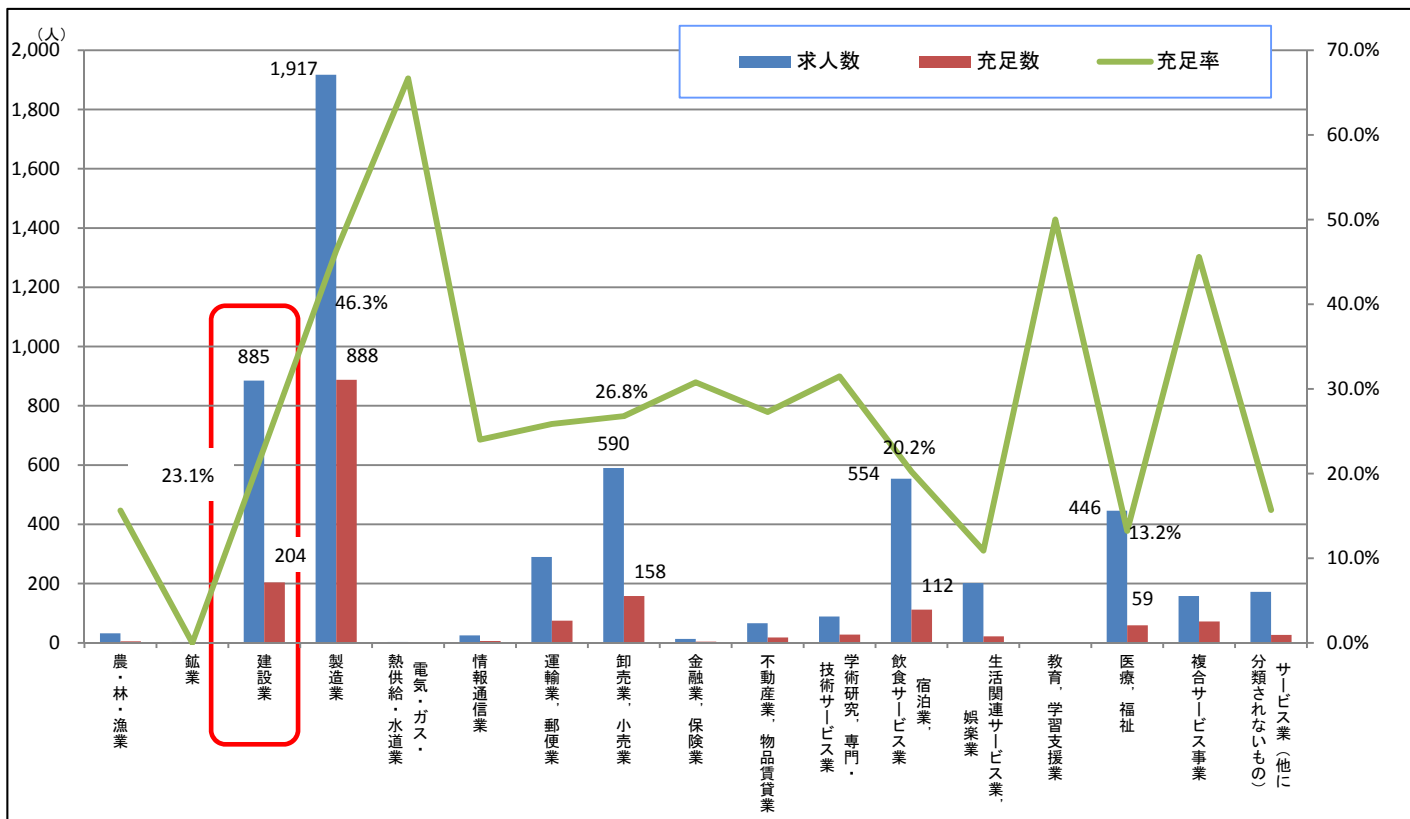
1. 有効求人倍率・失業率の推移



2. 建設分野の職業別求人倍率 (石川県)

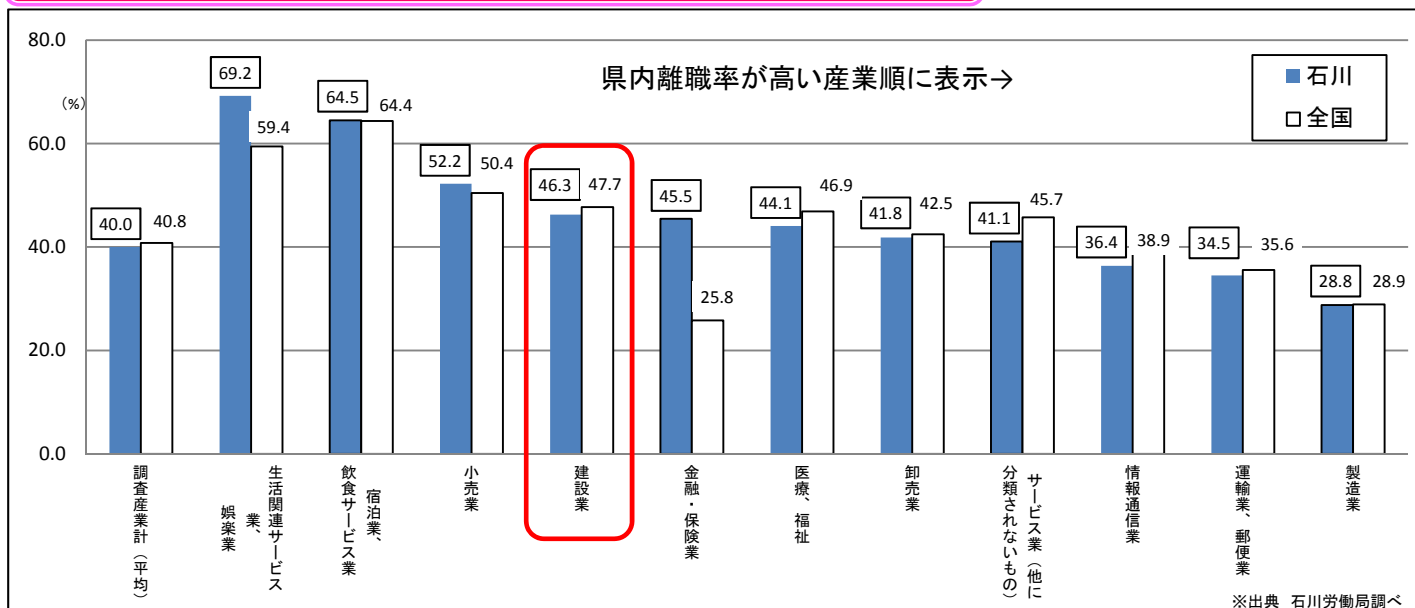


3. 平成30年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人充足状況（平成29年12月末現在）



※出典 石川労働局調べ

4. 平成26年3月新規高校卒業者 卒業3年後の離職率（全国と石川比較（主な産業））



※出典 石川労働局調べ

産業分類	石川			全国		
	離職率	就職者数	離職者数	離職率	就職者数	離職者数
調査産業計	40.0	1,976	791	40.8	170,591	69,588
生活関連サービス業、娯楽業	69.2	78	54	59.4	7,110	4,226
宿泊業、飲食サービス業	64.5	169	109	64.4	11,829	7,613
小売業	52.2	134	70	50.4	16,940	8,544
建設業	46.3	227	105	47.7	14,958	7,140
金融・保険業	45.5	11	5	25.8	1,508	389
医療、福祉	44.1	143	63	46.9	17,832	8,364
卸売業	41.8	98	41	42.5	7,768	3,298
サービス業（他に分類されないもの）	41.1	56	23	45.7	9,274	4,241
情報通信業	36.4	11	4	38.9	1,240	482
運輸業、郵便業	34.5	113	39	35.6	9,029	3,212
製造業	28.8	869	250	28.9	62,490	18,065

平成29年度 建設界の担い手確保・
育成に関する取り組みについて

【石川県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

平成29年9月29日(金)、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学理工学域環境デザイン学類(旧土木建設工学科)の学生(2年生)を対象とし、石川県内の2現場(①次期廃棄物埋立地埋立地整備現場(金沢市)②北陸新幹線、手取川橋りょう他(独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社)の現場見学会を開催しました。

今回の見学会は、**日建連**による「**担い手の確保・育成**」活動の一環として、**建設現場のやりがい・魅力の発信**、実際の作業環境を肌で感じて、**建設現場で働くイメージの形成**を目的として開催しました。

埋立地の現場では、ICT建機による法面切土の実演や高低差数十メートルに及ぶ遮水シートの施工状況を目の当たりにし、**大規模工事のスケール感を体感**でき、「**実際に作業しているところを見れたので良かった**」との声がありました。

新幹線の現場では、張出し形式の橋梁上部工の構築状況やラーメン構造の高架部を見学し、「**新幹線が通る前の軌道面を歩きながら説明を受けれたのが良かった**」との声がありました。また、女性技術者が**現場案内と工事説明**の担当だったということもあり、参加した女性からも質問が活発に出たのが何よりでした。**女性技術者が現場でもものづくりに取り組んでいる姿**を実際に見てもらうことで、**建設現場で働くイメージの形成**に寄与出来たのではないかと思います。

学生からゼネコンに対する質問もたくさんあり、**担い手確保に向けての良いPRの場**となりました。

現場見学会

①次期廃棄物埋立地埋立地整備現場
(金沢市)

②北陸新幹線、手取川橋りょう他
(独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社)



平成29年度工業系高校・大学・専門学生との現場見学会

(一社)石川県建設業協会

6月12日(月)	石川県立翠星高等学校	環境科学コース	3年	16名	新巨ダム・小松バイパス大長野
6月23日(金)	金沢市立工業高等学校	建築科	3年	40名	半島鉄工・日本通運船運物流センター・佛子園西園寺
6月29日(木)	石川工業高等専門学校	建築学科	1年~4年・留學生	50名	独立中央病院
7月12日(火)	金沢市立工業高等学校	土木科	1年	40名	樺木トンネル・輪島道路
7月13日(水)	石川県立小松工業高等学校	建設科	1年	38名	県営住宅08号棟・金沢外環状道路環状野川橋
7月14日(金)	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 建築コース	3年	13名	独立中央病院・野々市市新聞書館
7月14日(金)	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 土木コース	3年	10名	羽咋道路本庄・南加賀道路栗津ルート高架橋
7月14日(金)	金沢工業大学	環境土木工学科	3年	22名	輪島道路
				参加計	7校8学科 参加生徒計 228名(過半は見学会)

現場見学会の様子



☆石川県立中央病院 石川高専
石川県中央病院建設推進室



☆小松バイパス大長野 石川県立翠星高校
国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所



☆野々市市新聞書館 石川県立羽咋工業
野々市市 中央地区整備事業対策室

- 工事で使うICT施工の建設機械は操作が難しいと思っていたけど誰でも使い易いようになっていると聞いて驚きました。
- 全国的に作業員が減っている中で、ベテランの様な仕上がりを得ることができる情報化施工は、今後も拡大していく事業のひとつであると身にしみて感じた。
- 現場では女性はまだ受け入れられないイメージでしたが、見学中に作業員の方から「これから頑張っておね」等、温かい言葉をかけてもらって嬉しかったです。
- ICT施工にはとてもたくさんの時間がかかることとお金がかかることがわかりました。
- 見学会で重機にふれる体験ができ、大変貴重なことだとも思いますが良かったです。
- 自分にはどんな仕事があるのか今まだわかってないけど、やっぱり現場は魅力的で興味がわくなと実感しました。
- 人の流れを考えて建てることで、地域がより活性化するし、こうして建物等と人との繋がりができていくのだなと思いました。

工業系高等学校生徒との意見交換会

(一社)石川県建設業協会

11月24日	金沢市立工業高等学校	建築科	2年	40名
12月8日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	1年	30名(予定)
12月8日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	2年	30名(予定)
12月14日	金沢市立工業高等学校	土木科	2年	40名(予定)
12月19日	石川県立小松工業高等学校	建設科	2年	40名(予定)
平成30年3月	石川県立翠星高等学校	環境科学コース	2年	20名(予定)

参加生徒計 約200名



写真は金沢市立工業高校 建築科 2年生

意見交換会について

工業高校との意見交換会は前半、若手職員(同校OB等)が自身の1日・体験等をプレゼンまたは、ICT施工等の最新技術の紹介・説明を生徒に聞いてもらい、後半は協会会員企業所属の若手職員を中心としたグループ形式にて実施している。金沢市立工業高校での開催は、同校OBより【入社から5年の間に携わった現場】【1日の仕事の内容】と題したプレゼンを行い、後輩に伝えたいこととして「仕事の上ではコミュニケーション能力が大切。将来の為にしっかりと勉強してほしい」と語る年齢の近い職員との意見交換だと質問もし易く、かつ生徒が自身の近い将来の姿を想像できるようになり、貴重な体験となっている。

【建コン協北陸支部のPR 活動報告】

金沢工業大学にて、
建設のコンサルタントの仕事について説明会を実施しました。

日 時：平成29年5月25日（木）8：40～10：10

開催場所：金沢工業大学

説明者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部 技術部会

トンネル委員会 委員長 今度 充之

道路委員会 委員 藤本 勇一



金沢工業大学 環境土木工学科の3年生と院生を対象に、
建設コンサルタントの仕事について説明会を行いました。

動画「教えて！ケンコンさん ～建設コンサルタントの仕事と魅力～」放映後、パワーポイントでの説明、そして私どもの業務体験を紹介しました。

当日、参加された40名からのアンケートでは、建設コンサルタント業について知らなかったが、今回の説明会で理解を深めることができたという好評でした。「ものづくりやまちづくりなどを通して、ソフトとハードの社会新本整備で暮らしを支えることがわかった」「流れとして、企画立案、調査計画、設計工事、維持管理することがわかった」また、「動画は分かり易くてよかった」という意見をいただきました。



【建コン協北陸支部のPR活動報告】

金沢大学にて、
建設のコンサルタントの仕事について説明会を実施しました。

日 時：平成29年7月4日（火）10:30～12:00

開催場所：金沢大学

説明者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部 技術部会

トンネル委員会 委員長 今度 充之

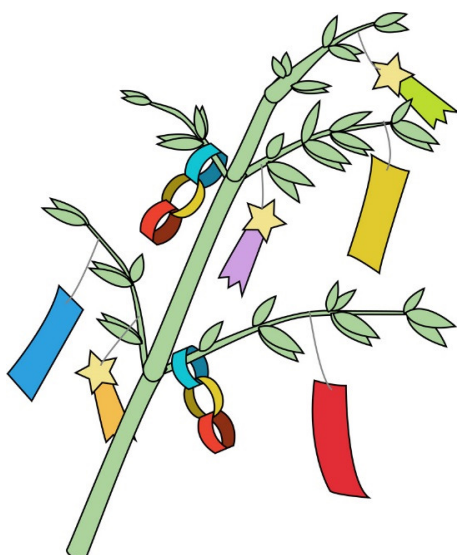
トンネル委員会 委員 麻田 正弘

金沢大学 一年生70名を対象にキャリア形成講座のひとつとして、建設コンサルタントの仕事について説明会を行いました。

パンフレットとパワーポイントでの説明の後、今まで係わった業務の体験談を紹介いたしました。そして、最後に動画「教えて！ケンコンさん ～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を見てもらいました。

4月に入学して間がなく、まだ専門の授業も受けていないので、説明の内容がどの程度理解できたかわかりませんが、生徒の皆さんは、とても熱心に聞いてくれました。

建設コンサルタントを目指そうという学生が1人でも増えることを期待しています。



【建コン協北陸支部の技術部会活動】

「平成29年度建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」
を開催しました！

日 時：平成29年10月11日（水）13:00～17:30

開催場所：新潟市内（興和ビル10F 第5会議室）

参加者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員 160名

「業務・研究発表会」は、業務における優れた成果や自主研究開発成果の発表を通じてお互いの技術研鑽を図ることを目的として開催されております。

今年は、新潟大学工学部の佐伯教授による基調講演、設計コンサルタント8名による業務・研究発表、また、新潟大学や長岡技術科学大学の学生2名による研究発表が行われました。

発表会では、日頃の業務における課題や、それに対する問題点等を的確に捉え、解決に至ったプロセスやその効果・展望を熱心に説明されていました。

大変忙しい中、多くの会員企業の皆様にご参加いただいたことに対し、厚く御礼を申し上げます。



建設コンサルタンツ協会北陸支部 建設コンサルタントPR活動 実施報告

実施対象者：石川県立大学 環境科学科 （就職担当 森准教授）

実施日時：平成 29 年 1 月 6 日（月）10:00～10:30

参加人数：3 年生 27 名

配布資料：①建コンPR冊子

- ・明日の社会を創造する建設コンサルタント
- ・建設コンサルタントの仕事とその魅力
- ・建設コンサルタントとは

②会員名簿

③クリアファイル

実施者：稲葉環境委員、西川河川委員

なお、今回は、時間の関係上、アンケートは未実施。



写真.1 実施状況①



写真.2 実施状況②

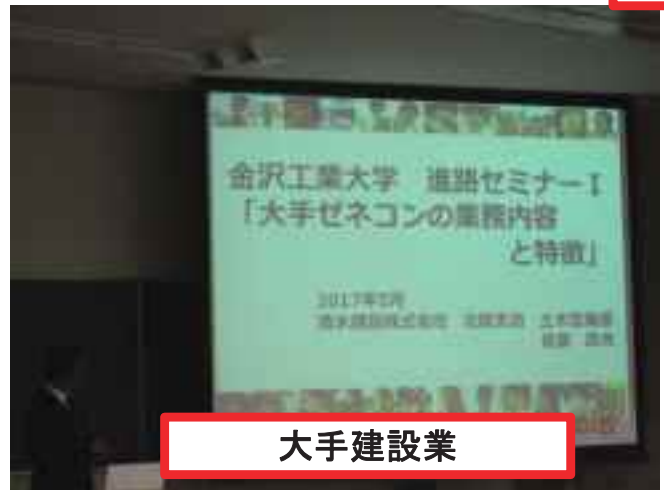
— 以 上 —

H29年度金沢工大 環境土木工学科3年生 授業 1

「進路セミナーⅠ」:建設界各講師による業種内容と特徴の紹介(各60分)



2



石川県中能登町中能登中学校防災・減災学習 地域の防災・減災の担い手とは？

1



ハザードマップづくり



ドローン飛行実習



防災施設(砂防堰堤)学習



2



国交省降雨体験車で豪雨を体験





石川県中能登総合土木事務所大森所長



金沢工大 環境土木工学科 川村教授

国交省金沢河川国道事務所調査二課本澤係長

高校生向けの取り組み

(平成 29 年度 石川県)

平成 30 年 2 月 1 日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

高校生向けの取り組み

○高校訪問

県内の夜間、私立を含む55校を対象（11月21日現在 53校を訪問）
進路担当教諭に対して、建設業振興グループ（県土木部監理課の職員）が、
リーフレット（協会作成）と今年2月に（訪問に先立ち）実施したアンケート
の結果を基に

- ① 建設業への入職を依頼
→求人票の学校への提出の可否
- ② 現場見学会、ガイダンスへの参加の依頼
- ③ より建設業を知ってもらうために、職業講話、意見交換会などの実施に
ついて

を説明、理解・協力をお願いしている。

○職業講話、意見交換会

学校の要望に即した職業講話、意見交換会を実施

- ① 金沢辰巳丘高校（6月15日）30人参加（H28年度に引き続き）
→学校が実施している 職業ガイダンス（2年生対象） の一つのコースと
して実施
道路建設を一つの例として、パワーポイントにて建設業を説明
県・建設業振興GLが講師
- ② 小松北高校（6月16日）11人参加（H29年度より）
学校が実施している 職業ガイダンスの新たなコース として、希望した受
講生に 建設業を紹介してもらいたい との要望
→県建設業協会、地区建設業協会に相談し、榑吉光組がドローンの実演
を交えながら、建設業の魅力を伝えた
- ③ 七尾高校（8月4日）81人参加（H29年度より）
建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の
1、2年生 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望
→石川県の土木についてパワーポイントにて、大森中能登土木総合事務
所所長が説明
- ④ 金沢伏見高校（9月21日）10人参加（H28年度に引き続き）
学校が実施している 職業ガイダンスの一つのコース として、具体的な職
種として 建設業を紹介してもらいたい との要望
→建設業協会に相談し、榑明翫組が次週の現場見学会と併せ、自社の事
業概要を説明

⑤ 金沢桜丘高校（11月17日）1、2年生の希望者（H29年度より）

ア 学校が実施している 職業ガイダンスの一つのコース として、具体的な職種として 建設業を紹介してもらいたい との要望

→建設業協会に相談し、(株)明翫組が自社の事業概要を説明（約80人参加）

イ 建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の1、2年 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望

→石川県の土木についてパワーポイントにて、竹俣次長が説明（約120人参加）

⑥ 金沢泉丘高校（11月20日）25人参加（H29年度より）

建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の1、2年生 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望

→石川県の土木についてパワーポイントにて、東県央土木総合事務所所長が説明

○企業ガイダンス(7月8日開催)

- ・石川県（総務部、商工労働部）、県教育委員会、労働局の主催で毎年実施。
その年の就職を希望する3年生が対象。当日、約1900人が参加（就職希望者の約8割）
金沢駅と会場（産業展示館）間（約6km）で無料臨時バスを運行（県・商工労働部の予算にて）
- ・県内の企業に参加を募り、産業展示館4号館でそれぞれの企業がブースを設け、自社について高校生に直接説明
（参加企業191社 うち 建設業36社（うち県協会会員 12社））
- ・1人の高校生が5社分まで説明を受けることが可能
建設業の企業ブースには延べ約900人の高校生 が参加

○現場見学会

①土木部の若手職員が企画、実施

- ・H28年度は2回実施 計33人参加
- ・H29年度：見学先

ア 能登方面 H29.8.8 荒天により中止 参加希望者17人
うち女子1人 輪島道路、真脇トンネル、小間生橋、北河内ダム

イ 金沢市内 H29.8.10 参加希望者13名のうち11人参加
うち女子7人 県立中央病院改築、海側幹線道路、犀川河川改修

②その他（高校独自に実施）

学校のキャリア教育の一環として実施したいとの要望。

→県建設業協会、地区建設業協会に相談し、対応可能な企業の協力を得て実施

ア 金沢伏見高校（H29.9.26 11人参加 うち女子1人）

→ 協力企業 ㈱明翫組

（金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事函渠工その1）

イ 寺井高校（H29.9.27 4クラス約160人参加）

1年生のそれぞれのクラスが工場見学などの他産業も含めた現場見学を行う中での一つ

4クラス、それぞれ見学コースや時間が違うので、複数の企業に協力を依頼

→ 協力企業 ㈱吉光組 （2クラス参加）

（北陸新幹線 動橋川橋りょう他工事）

→ 協力企業 ㈱江口組 （1クラス参加）

（国交省工事 H28 梯川白江高水護岸工事）

→ 協力企業 ㈱丸西組

（国交省工事 H28 梯川天神輪中堤その2工事）

○パネルディスカッション

金沢北陵高校（11月8日）全2年生が参加（192人）

・一つのテーマについて違う職種のパネリストが答えることで、建設業の魅力を分かりやすく伝えることを目的として実施。

・高校生と年齢が近い若手技術者がパネリストを務め、実体験に基づく話をした。

→ パネリスト

・北川ヒューテック㈱ 石本 春花（イシモト ハルカ）20歳

・㈱明翫組 新井 真輝（アライ マアキ）21歳

・参加した生徒からは、

「建設業のイメージが変わった」

「建設業への興味が少し深まった」など、好意的な意見が聞かれた。

第2回目として、12月19日に金沢商業高校において実施予定

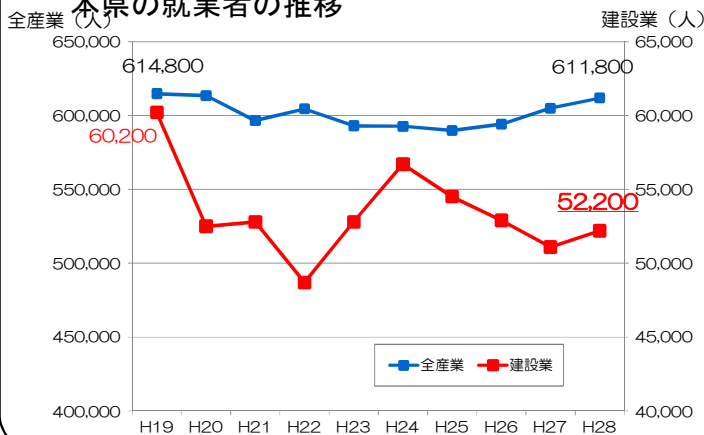
建設業における 担い手確保に向けた取り組み

建設業従事者の推移

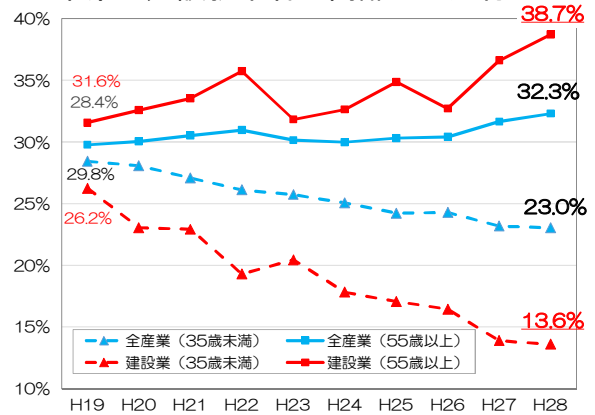
この10年間で

- ・ 全産業の就業者数はほぼ横ばい、建設業は約13%減
- ・ 55歳以上の就業者の割合は全産業より建設業が高く、35歳未満の割合は全産業より建設業が低く、その傾向は年々顕著となっている

本県の就業者の推移



本県の建設就業者の高齢化の進行



経験の浅い若手技術者が活躍できる環境づくりや労働環境の改善

建設業を支える人材を確保・育成

建設業における担い手確保に向けた取り組み

建設業の 担い手確保



将来の担い手 確保の支援

- ①学生(大学・高専・短大)向け
 - インターンシップフェスへの建設業者参加呼びかけ
- ②高校生向け
 - 企業ガイダンスへの建設業者参加呼びかけ
 - 高校訪問による入職呼びかけ
 - 高校生現場見学会の開催
 - 他業種とのコラボ企画(パネルディスカッション)
- ③小・中学生、一般向け(PR)
 - 「はだしの王国」でのブース出展
 - 各土木事務所でのPR

労働環境の改善

- いしかわ土日おやすみモデル工事の導入
- 快適トイレの導入
- 「けんせつ小町」の座談会の開催
(○ICT建設機械の活用推進)

発注者(行政)に おける業務改善

- 入札制度改革
- 総合評価の改善
- 発注見通しの統合(試行)

将来の担い手確保の支援

いしかわインターンシップフェス

大学・高専・
短大学生向け

主に夏期休暇中に実施される

インターンシップに関する情報を企業から学生に直接説明



H29. 5. 13 産業展示館で開催
約230社参加(建設業12社)
学生約1,700名参加

将来の担い手確保の支援

新規高卒者の建設業就業者数

卒業年(3月)	H26.3	H27.3	H28.3
就職年度(4月1日)	H26.4	H27.4	H28.4
A 卒業生数(全体)	10,093	10,314	10,203
A1 進学その他 (A1 / A)	7,878 78.1%	8,106 78.6%	7,951 77.9%
A2 就業者数(全体) (A2 / A)	2,215 21.9%	2,208 21.4%	2,252 22.1%
B 就業者数(建設業)	257	212	265
卒業生全体に占める割合(B / A)	2.5%	2.1%	2.6%
就業者全体に占める割合(B / A2)	11.6%	9.6%	11.8%
C 建設系卒業生 建設業就業者全体に占める割合(C / B)	85 33.1%	67 31.6%	83 31.3%
D 非建設系卒業生 建設業就業者全体に占める割合(D / B)	172 66.9%	145 68.4%	182 68.7%

約3分の2が非建設系高校
(普通科高校等)の卒業生

建設業への就業者を増やすため、
普通科高校への働きかけ
が効果的

将来の担い手確保の支援

高校生を対象とした企業ガイダンス

高校生向け

H29. 7. 8開催



- 建設業者：36社／191社（うち県建設業協会会員企業12社）
- H30. 3月卒業予定の**高校生約1,900名**が来場
（就職希望者の約8割強）
- 建設業者ブースには延べ**約900名**が参加
（1人5社分まで参加することが可能）

将来の担い手確保の支援

高校訪問による入職呼びかけ

高校生向け

今年度は、**県内全55校を対象に高校訪問**を実施

将来の進路を見据え、**普通科高校**においても**建設業の魅力**を伝える場として、**職業講話・意見交換会の開催**を働きかけ

職業講話・意見交換会を開催

金沢辰巳丘高(6/15)／小松北高(6/16)／七尾高(8/4)／金沢伏見高(9/21)
金沢桜丘高(11/17)／金沢泉丘高(11/20)



七尾高校



金沢伏見高校



小松北高校

将来の担い手確保の支援

高校生向けの現場見学会

高校生向け



石川県高校生 土木・建築現場見学会 in 金沢

- H29.8.10開催（県主催）
- 11名参加（うち女子生徒7名）
- 新県立中央病院建設工事、
海側幹線橋梁工事 など

※能登方面（H29.8.8）は荒天のため中止

高校独自で見学会を実施

金沢伏見高校



H29.9.26
11名参加

寺井高校



H29.9.27
4クラス
約160名参加

将来の担い手確保の支援

パネルディスカッション【他業種とのコラボ企画】

高校生向け



他の業種とのコラボにより
建設業が持つ魅力を
効果的に高校生に伝える

今年度初めて実施

<金沢北陵高校>

- H29. 11. 8
- 2年生190名参加

～生徒の声～

- 建設業のイメージが変わった。
- 建設業への興味が少し深まった。

今後の予定

12月19日 金沢商業にて実施予定



将来の担い手確保の支援

「はだしの王国」イベントブース出展（3回目）

親子向け

親子向け土木ブース

「目指せ！土木・建築エンジニア」を開設

H29. 10. 9 奥卯辰山健民公園で開催

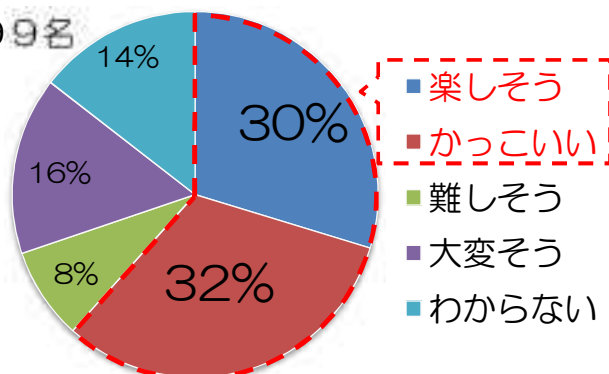
測量・重機操縦体験、クイズラリー 等
児童・保護者約700名参加

アンケート結果

Q. 「土木・建築」についてどう思うか

結果：約6割が好意的な回答

【子供】399名



将来の担い手確保の支援

「はだしの王国」での土木・建築イベントブースの出演

一般向け



重機でボールすくい



測量体験



土木実験



なりきり撮影会



液状化実験

将来の担い手確保の支援

県土木事務所によるPRイベント

一般向け

平成28年度からPRイベントや見学会等を実施
あわせて参加者へのアンケートを実施

H28 20件

H29 31件予定

歩いてみよう!「のと里山海道」 H29. 5. 14開催

測量・重機乗車体験、クイズラリー 等 約1,600名参加

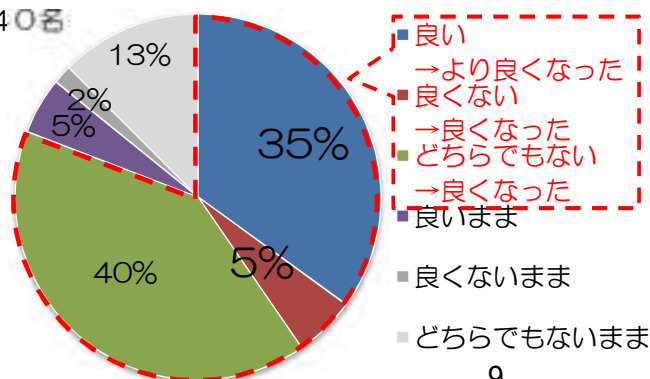
アンケート結果

Q. (イベントを通して)公共事業のイメージが変わったか

結果: 約8割が良くなったと回答



【有効回答】240名



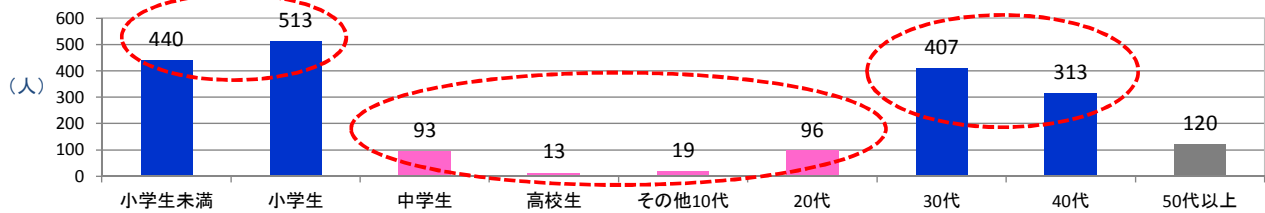
将来の担い手確保の支援

県土木事務所によるPRイベント アンケート結果（H28）

【参加者内訳】

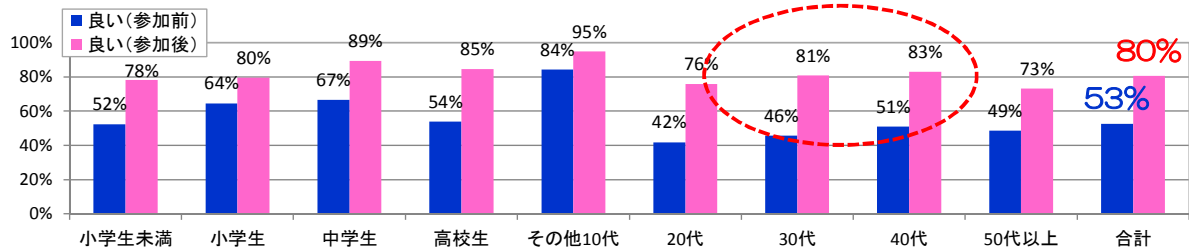
【アンケート対象】 自由参加型の7イベント(参加者数:2,014名)

- ・子ども向けイベントが多いため、**小学生未満・小学生とその保護者（30代・40代）の参加が多い**
- ・**中学生～20代までの参加が少ない**



【公共事業のイメージ】

- ・全世代で公共事業のイメージが改善 **良い53%→80%**
- ・子どもだけでなく、**保護者のイメージが大幅に改善**



今後は、**中学生～20代が参加したくなるイベントを提案**
幅広い世代が参加できる工夫

労働環境の改善

若者に「働く魅力が感じられる職場づくり」が重要
確実な休日の取得など処遇改善が必要



H27年度から「**いしかわ土日おやすみモデル工事**」を実施

【実施状況】 H27年度 14件、 H28年度 34件

■H28結果概要

- 休日取得率 **100%** (代休含む)
- アンケート結果 (回答者87名)
97%がモデル工事を良いと回答

【主な意見】

- ・工種や規模に応じて取り組んだほうがよい
- ・適切な工期設定が必要
- ・工期が長くなり、仮設費などが嵩む、工事の利潤が低下

労働環境の改善

今年度の取り組み

H28アンケート結果を踏まえ、H29年度は**42件程度実施予定**

- 工種は、**道路改良・上下水道を中心に幅広く選定**
- **6,000万円以上の規模が大きい工事で初導入**
- **適切な工期を設定**
- **週休2日を実施した場合には、共通仮設費・現場管理費を変更増**

《H29アンケート速報（主な意見）》

回答者：29人（経営者29）

- 発注段階での工期設定は適切
- 工期が長くなることによるコストアップへの対応として、共通仮設費・現場管理費の増は有効
- × 週休2日制の普及には、**実稼働日数の減に伴う「作業員の年収の減」及び「企業の収入減」が課題**であり、**労務・施工単価の増が必要**
- × 週休2日制の拡大に向けては、国・県だけでなく、市町も含め、**行政が一体となり取り組むことが必要**

今後の方針

- ・引き続き、モデル工事での取組を通じて現場の実態を把握しながら、**国の取組と歩調を合わせ、モデル工事を拡大・展開**

労働環境の改善

若者や女性など多様な人材の入職を促進するには、**建設現場を男女ともに働きやすい環境とすることが必要**

H29. 7月から男女共に快適に使用できる仮設トイレ

「快適トイレ」を導入

快適トイレのイメージ



快適トイレの主な仕様

- ・ 洋式便座
- ・ 水洗式
- ・ ニオイ逆流防止装置
- ・ 施錠機能
- ・ 照明器具
- ・ 衣類掛けフック 等

対象工事：・ 6千万円以上の工事は原則実施
・ 6千万円以下の工事は施工業者からの希望により実施

労働環境の改善

■背景

建設業でも、高齢化、若手入職者が減少
担い手の確保は重要な課題
近年、女性技術者も進出→「けんせつ小町」、「ドボジョ」



「けんせつ小町」の座談会

女性が働きやすい環境、公共事業のPR、担い手確保・育成等について、実際に働いている女性技術者で意見交換し、問題点を共有

日時 平成29年9月19日(火) ※昨年に引き続き2回目

場所 南加賀土木総合事務所

出席者 13名

(南加賀土木総合事務所 3名
小松能美建設業協会、加賀建設業協会 10名)



もっと頑張りたいので、
男女の区別をなくしてほしい

(子育て等で)もっと休みが
取りやすくなればよい

発注者(行政)における業務改善

○労務単価の改定 (H29. 3. 1~)

- ・ 5年連続の引き上げ、4年連続の前倒し改定
- ・ 主要な職種で平均3%の増加

○最低制限価格の改定 (H29. 4. 1~)

- ・ 直接工事費の算入率を95%から97%へ引き上げ
→ 最低制限価格の率 約89%

年度	H15	H20	H21	H23	H25	H28	H29
直接工事費	100%	95%	95%	95%	95%	95%	97%
共通仮設費	100%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
現場管理費	20%	60%	70%	80%	80%	90%	90%
一般管理費等	—	30%	30%	30%	55%	55%	55%
最低制限価格の率	約74%	約80%	約82%	約84%	約86%	約88%	約89%

○近接工事の諸経費調整を廃止 (H29. 4. 1~)

- ・ 近接した2つ以上の工事を同一施工業者が落札した場合の諸経費調整に伴う減額変更を廃止

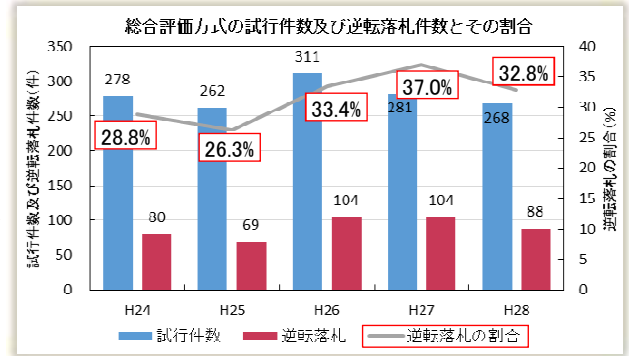
発注者(行政)における業務改善

【総合評価方式】

- 価格以外の多様な要素も考慮して、総合的に優れた落札者を決定する制度(平成18年7月導入)
- 対象: 工事価格が3千万円以上の制限付き一般競争入札(原則)

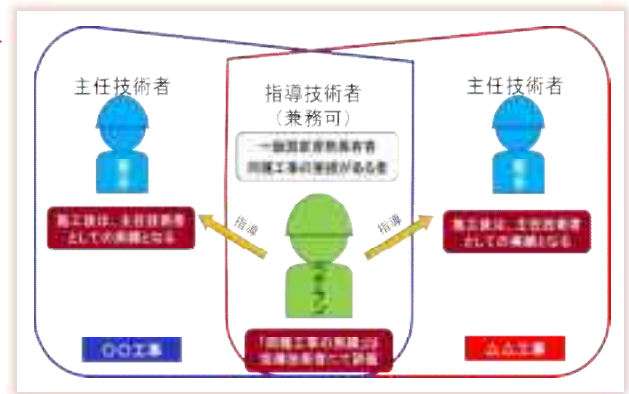
【導入効果】

- ダンピング受注の防止
(最低入札価格者以外が落札する割合: 20~40%)
- 工事の品質向上
(工事成績評価が適用しない工事より概ね2点程高い)



【近年の改善点】

- 若手技術者育成方式を導入(H27.1~)
 - (品確法が改正(H26.6)され、担い手の中長期的な育成と確保が発注者の責務として規定)
 - (ベテラン技術者が若手技術者を指導することで、技術の伝承や若手の育成を図る)
 - (平成29年度改正内容として、)
- 技術提案の課題数を低減(事務負担軽減)
(3課題→2課題)
- 配置技術者のCPD評価対象を全工事に拡大



発注者(行政)における業務改善

■ 発注見通しの現状 ■

- ・発注機関の多くはインターネットで公表
- ・内容や更新時期は発注機関でバラバラ

□ 受注者からの意見 □

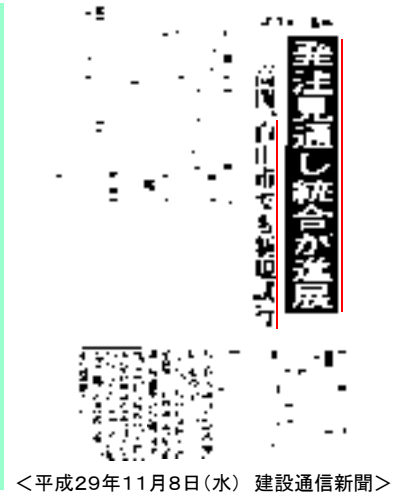
- ・一元的な情報把握が難しく、地域単位で発注予定を把握するには時間と手間がかかる

各発注機関が個別に公表している工事の発注見通しを地域ごとに統合し公表(試行版を実施)



受注者が技術者・技能者の計画的な配置、資機材の容易な調達等を行える環境づくり

北陸地域では、平成28年12月より試行	金沢市	石川県内の対象地域
	小松市・加賀市	
	輪島市	
	羽咋市・志賀町	
	白山市	
平成29年10月より追加		



ただし、公表時期や頻度、公表様式(データ)にバラつきも……

今後、「発注見通しの統合」試行の更なる拡大に向け、検討を進める

未来は
この手で
つくる。



石川県建設業協会
リーフレット

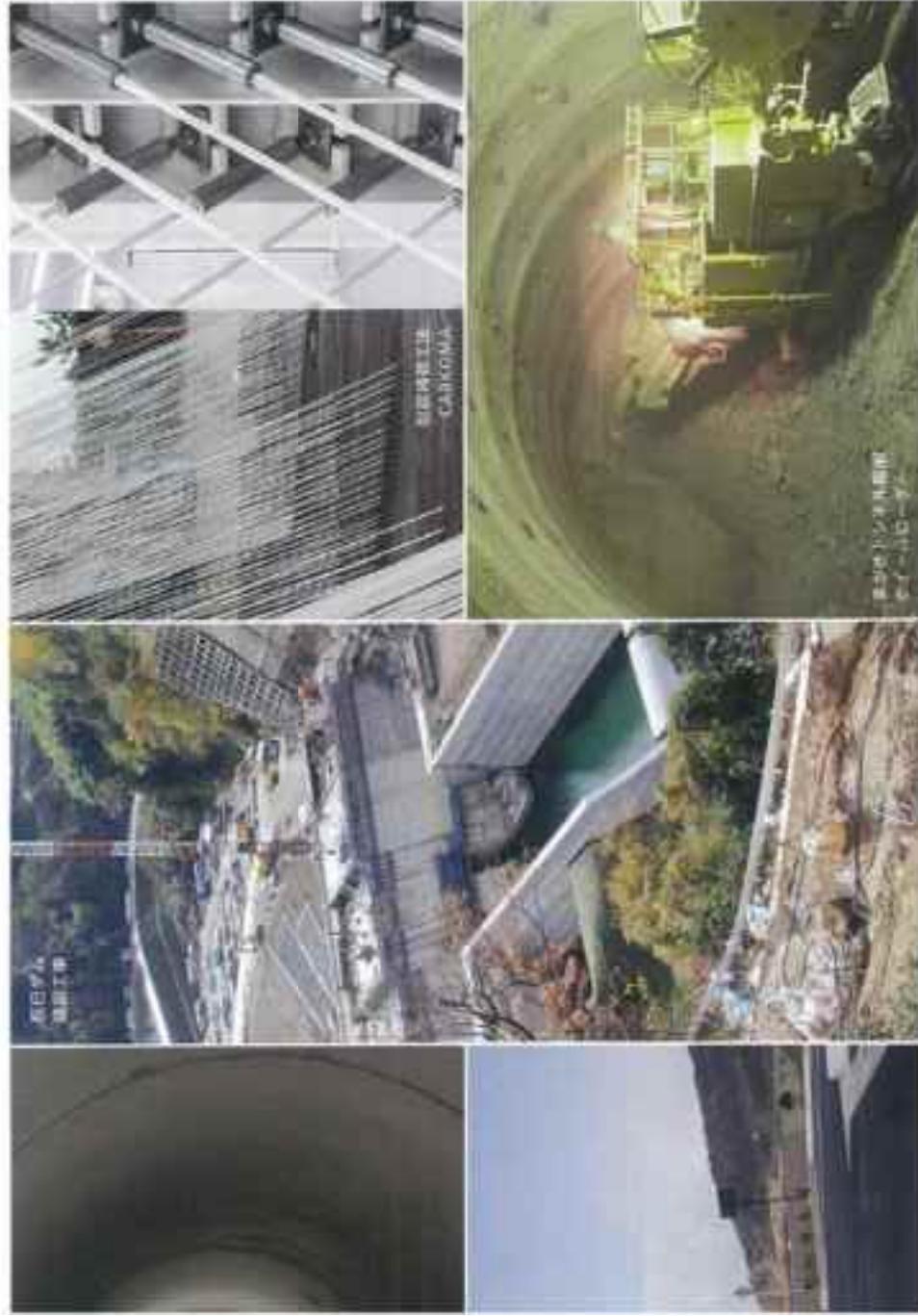
現場には、普段見ることのできない風景が 広がっている。

建設現場は、日常では見ることのできるい風景も決して見ることができない現場の一つです。そして建設現場には様々な建設機械や最新技術を用いた最新の無人と呼ばれる人たちがいます。そんな無人によって作られ、そして守られているのが私たちの住まわります。無人技術ともいえる高い生産力は、一つひとつの現場を建設していくことで置きあがられ上進していきます。

毎時を驚かすほどの見える風景も変わっていく。建設現場はそんなやりがいと感動の連続です。



最新技術としては、例えば平ローンによる壁面からの3D測量があります。地上からの作業が困難な地帯でも、安全で効率的に測量ができます。また、石川清砂株式会社が開発した封鎖体施工機も生まれています。わたしたちの生活をより安全で便利にするために、そして、これが今後半導体材料という未来のために、益々発展の鍵となるべき技術はますます増えていくと見えます。



汗を流して
目の前の物事に
取り組む姿は、
カッコイイ。

現場に出ると季節によって暑い・寒いの気持
はありますが、どんな環境でも必死の打ち
に取り組む人たちは、カッコイイです。建設
現場にはそんな真剣に取り組む姿がたくさん
あり、どの現場にも溢れています。
それぞれの個性は違えど、楽しく安全な生活
が出来るように、そして高い目標をもち、協力し
ためにみんなが強い思いをもって、必死
に取り組んでいます。



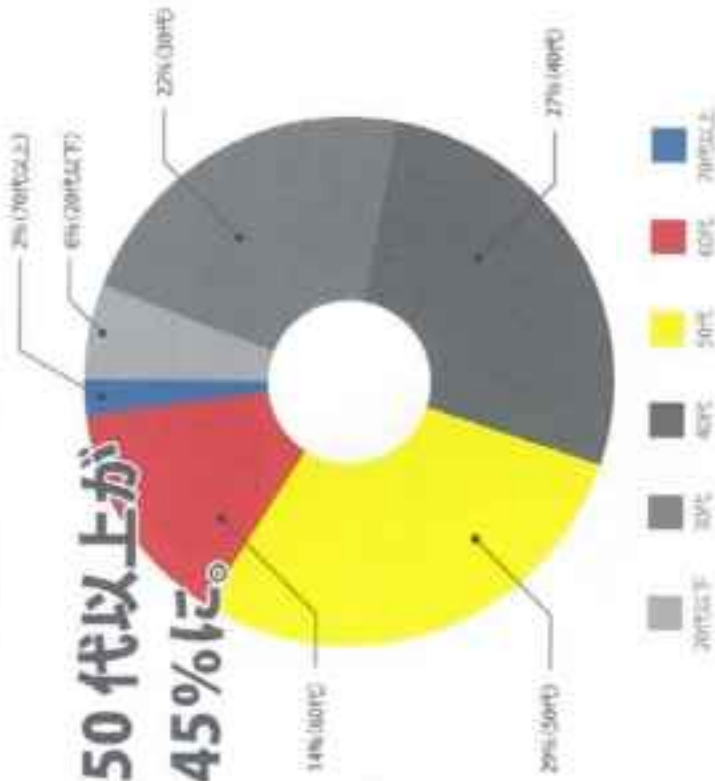


ONとOFFの メリハリが 毎日を充実させる 鍵となる。

なまこ100の業務するためには、ONとOFFのメリハリが大切です。友人と遊んだり旅行へ行ったり、思いっきり楽しむことが仕事への活力につながります。健康で働く人たちは、休む時はしっかりと休み、楽しい時間を過ごしています。そんなONとOFFのメリハリが仕事も休日も充実させる鍵となるのです。

建設産業で働くなら今がチャンス!!

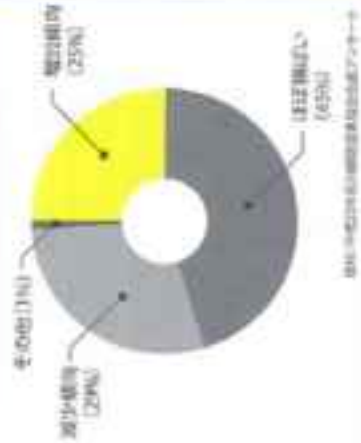
50代以上が
45%に[◎]



業界の平均年齢が50代以上となっており、50歳～60歳後大量の人手不足が想定されています。そのため今建設産業に勤めると、多くのチャンスが待っているといえます。

建設産業の労働者人口の年齢別構成率

給与はあまり変動していない



建設産業の労働者人口の給与別構成率



女性が増えています!!



女性が増えていると共にチャンスも広がっています

建設産業の労働者人口の性別別構成率

3年目の REAL VOICE

様々な協力業者を束ねる
現場監督になる。

私は現場からよく工事現場の改善案を、その現場が水まきといった工事からスムーズに進むよう様々な設備や資材を提案する現場監督に憧れるようになり、就職を決めました。まだ物々しい現場での仕事は慣れず、現場監督が出来るようになっていく過程を覚悟していましたが、先輩現場監督は優しく、良いものを提案して下さる人、一つひとつ自分の仕事に責任を持って、良いものが出来ると、現場で仕事をするのが楽しくなりました。



“未来”志向の“心志”を育む建設産業
 一環の担い手 石川県建設業協会



〒921-8036 石川県津田町丁1番23号
 TEL:076(2)42-1181(代) FAX:076(2)41-0238
 公式ホームページ: www.iwhibenkyo.or.jp

- **環境問題** 気候変動による気候変動による自然災害の発生頻度の増加や、海面上昇による沿岸部の浸水被害、河川氾濫による農林漁業への被害、森林火災による国土の荒廃など、気候変動は社会のあらゆる分野に深刻な影響を及ぼしています。建設業は国土の形成・維持に不可欠な産業であり、気候変動への対応は、持続可能な社会の実現に向けた重要な課題です。本協会では、気候変動対策の推進を目的として、以下のような取り組みを行っています。

 - 環境配慮型建築の推進** 省エネルギー型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。また、環境配慮型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。
 - 環境配慮型建築の普及** 環境配慮型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。また、環境配慮型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。
 - 環境配慮型建築の普及** 環境配慮型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。また、環境配慮型建築の普及を促進するため、環境配慮型建築の技術開発や普及啓発活動を行っています。



環境省「省エネ推進」推進事業、国土交通省「省エネ推進」推進事業

監 第 2249号
平成29年2月14日

各高等学校 校長 様

石川県土木部監理課長

高校生に対するキャリア教育（就職・進学）に係る
取り組みについて（調査依頼）

日頃より、皆様におかれましては、本県土木行政にご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり、建設業は、本県の地域経済や雇用を支える基幹産業であるのみならず、災害復旧や除雪など県民の安全・安心の確保のために重要な役割を果たしているところですが、労働力人口の減少、少子高齢化の進展などにより人材の確保が厳しく、若手人材の確保が喫緊の課題となっております。

こうした中、県としましては、高校生に将来の職業の選択肢として建設業を考えてもらえるよう、関係団体とともに現場見学会、意見交換会やパネルディスカッションの開催などに取り組んできたところであり、皆様の協力を得て一部には効果も見え始めたところです。

担い手の確保には、このような取り組みを継続していくことが重要であると考えておりますが、より効果的に実施するには、その内容や実施時期については、皆様のご意見・ご要望に少しでも沿った形で実施したいと考えております。

つきましては、御多忙の折、大変恐縮ではございますが、別紙調査項目について平成29年2月28日までに担当までご回答いただきますようお願い申し上げます。

※当調査は、取り組みを実施するに際し、皆様のご意向やご意見を参考とし、取り組みの内容や実施日の参考とするものです。

従いまして実際の取り組みにあたっては、みなさまに再度正式に参加依頼等をさせていただきますことを申し添えます。

（事務担当）

石川県土木部監理課
建設業振興グループ
念介、上前

[Tel:076-225-1712](tel:076-225-1712)

[Fax:076-225-1714](tel:076-225-1714)

高校名	
氏名	
連絡先	

別紙

私たちはこれから以下のような取り組みを検討しております。実施(参加)可能なものについて可能な時期を教えてください(複数回答可)。

- ①現場見学会(業界で働く方の説明による建設現場の見学)
- ②意見交換会(業界で働く若手とのグループトーク)
- ③出前講座(業界で働く方による職業講話・パネルディスカッション)
- ④その他
- ⑤実施(参加)できそうなものはない

(月)	(時期)	(実施希望)	(月)	(時期)	(実施希望)
4月	上旬		10月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
5月	上旬		11月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
6月	上旬		12月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
7月	上旬		1月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
8月	上旬		2月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
9月	上旬		3月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	

(その他、実施に関するご意見・ご要望)

<意見交換会の例>

- 形式 ①: 講師毎にコースに分け
 ②: 生徒は希望するコースに移動
 ③: 前半(第1回)スタート
 ④: ※②・③繰り返し

<イメージ図>



<出前講座の例>

- 講師: 業界の経営者・若手・女性
 内容: ①業界に入職した理由
 ②働く際に感じるやりがいや苦労話
 ③業界でのキャリアパス など

<イメージ図>



※それぞれの取組み内容に関しては、学校側のご要望に沿い、柔軟に対応が可能です。

高校名	〇〇高等学校
氏名	石川 太郎
連絡先	076-〇〇〇-××××

別紙(記載例)

私たちはこれから以下のような取り組みを検討しております。実施(参加)可能なものについて可能な時期を教えてください(複数回答可)。

- ①現場見学会(業界で働く方の説明による建設現場の見学)
- ②意見交換会(業界で働く若手とのグループトーク)
- ③出前講座(業界で働く方による職業講話・パネルディスカッション)
- ④その他
- ⑤実施(参加)できそうなものはない

(月)	(時期)	(実施希望)	(月)	(時期)	(実施希望)
4月	上旬		10月	上旬	
	中旬			中旬	②
	下旬			下旬	
5月	上旬		11月	上旬	
	中旬			中旬	③
	下旬			下旬	③
6月	上旬		12月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
7月	上旬		1月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬	①		下旬	②・③
8月	上旬	①	2月	上旬	②・③
	中旬	①		中旬	
	下旬			下旬	④
9月	上旬		3月	上旬	④
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	

(その他、実施に関するご意見・ご要望)

- ①現場見学会については夏休みの時期のみ実施可能である。
- ②意見交換会については総合の時間(毎週〇曜日〇限目)を活用して実施可能である。
- ③出前講座については学年全体向けとして実施してほしい。
※②・③について、1つの業界のみならず、他の業界の話も聞けるとありがたい。
- ④当校で面接指導の時間があるので、面接官役として講師を派遣できないか。

<意見交換会の例>

- 形式 ①:講師毎にコースに分け
②:生徒は希望するコースに移動
③:前半(第1回)スタート
④:※②・③繰り返し

<イメージ図>



<出前講座の例>

- 講師:業界の経営者・若手・女性
内容:①業界に入職した理由
②働く際に感じるやりがいや苦労話
③業界でのキャリアパス など

<イメージ図>



※それぞれの取組み内容に関しては、学校側のご要望に沿い、柔軟に対応が可能です。

平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成協議会 主な議事

資料一7

H30.2.1

事務局 取りまとめ

項目	発言内容	事務局回答 等
<p>離職に関するデータ 収集・分析</p>	<p>【新潟工業高校】 ・離職者の学校種別があると議論し易い。データはないものか。 【新潟労働局】 ・そのような細かいデータ整理は難しい。 【新潟県土木部長】 ・現在も離職理由は前回協議会で紹介のあった「コミュニケーションが悪いが1位」のままなのか。</p>	<p>【座長(北陸地方整備局長)】 ・今後、事務局で検討してみたい。 【座長(北陸地方整備局長)】 ・今後、事務局で検討してみたい。(労働局と相談しながら) 【座長(北陸地方整備局長)】 ・離職対策についても各部会で議論頂ければありがたい。</p>
<p>建設系学校以外の 小中高校・合同企業 説明会</p>		<p>【座長(北陸地方整備局長)】 ・今協議会の議題とした次の取り組み課題については、今後事務局および各部会で議論いただくことになる。 ・細々といっぱいややるのと纏まって一斉にやるのとどちらが良いのかみ たいな部分もある。協議会として纏まっているメリットが正にそういうこと ではないか。 「建設系学校以外の小中高校へ向けた取り組み」 「建設業界一体となった企業説明会の実施」</p>
<p>合同企業説明会</p>		<p>【北陸地方整備局企画部長】 ・就職のマッチングをするような取り組みを、各県部会でどのような形で できるかを是非議論頂きたい。</p>
<p>就職状況データの収 集・分析</p>	<p>【富山大学】 ・建設系以外の学科、学部等からの就職状況に関するデータ収 集・分析を行い、建設系以外へのPRの有効性を確認すべき。</p>	<p>【座長(北陸地方整備局長)】 ・事務局で検討し、またこの協議会に提供できればと思う。(産業側ある いは役所側のほうでデータを調べるなど)</p>
<p>使いやすい資料等の 協議会・部会への情 報共有</p>		<p>【座長(北陸地方整備局長)】 ・石川県の教育委員会と土木部が連携して建設系以外の高校へアプ ローチしている取り組み等を、新潟県部会、富山県部会へも情報共有 するよう事務局にお願いしたい。 ・この業界の必要性、重要性などを説明する資料を使いやすい形で皆 さんに共有することを事務局で検討してほしい。</p>

担い手カレンダー（石川県部会）

2018

6

June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
					まちづくり月間 土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間（6/1～7）	
3 1991年：雲仙岳噴火（長崎県）	4	5	6	7 2000年：石川県西方沖地震（小松市で震度5弱）	8	9
測定の日						
10	11	12 1976年：宮城県沖地震（宮城県）	13	14 2008年：岩手・宮城内陸地震（東北地方）	15	16 1964年：新潟地震（穴水湾への津波浸水）
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26 1961年：梅雨前線による集中豪雨（七尾市）	27 出前	28 1948年：福井地震（加賀地域で家屋倒壊等）	29	30

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

6月のイベント						
	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬						
中旬	11		金沢大学	金沢大学	金沢市	地質調査業の魅力伝えるセミナー((一社)石川県地質調査業協会)
	19		金沢大学	金沢大学	金沢市	大学院1年生による犀川大橋の現場見学会(川田工業(株)・金沢河川国道事務所)
下旬	22		金沢市立工業高等学校 土木科1年生	金沢市立工業高等学校	金沢市 輪島市	金沢外環状道路海側幹線IV工事・輪島道路工事の施工現場を見学((一社)石川県建設業協会)
	22		金沢市立工業高等学校 建築科3年生	金沢市立工業高等学校	金沢市	県央土木総合事務所管内工事・他1工事の施工現場を見学((一社)石川県建設業協会)
	22		国家公務員一般職(技術職)採用試験受験者	北陸地方整備局企画部	加賀市 小松市 金沢市	加賀拡幅道路事業・梯川河川整備(小松天満宮)・金沢港耐震強化岸壁整備の現場見学及び金沢河川国道事務所での職場見学・若手職員との意見交換会
	22		金沢工業大学 環境土木工学科	金沢工業大学	金沢市・小松市(及び富山県内)	2班に分かれ、富山県内の道路・ダム及び石川県内の河川・道路の工事現場をそれぞれ現場見学(金沢河川国道事務所・富山河川国道事務所)
	26		石川県立翠星高等学校	石川県立翠星高等学校	白山市	出前講座(石川県石川土木総合事務所)
通年及び期間のイベント・取り組み						
毎月第4火曜日	他	一般県民	(一社)石川県建設業協会	FMラジオ番組(放送時間:毎月第4火曜日 18時00分～18時05分)で、建設業界で働く方に建設業界の魅力についてインタビュー形式でお話を伺い、広く一般の方にPR		
4～12月	他	高校生	石川県土木部	県下の高校の進路担当に対して入職協力を依頼するとともに建設業をアピール		

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 河川愛護月間 1952年：豪雨災害 (加賀北部・能登 南部) 海岸愛護月間 海の月間	2	3 1981年：梅雨前線による集中豪雨 (加賀市)	4	5 2017年：九州北部豪雨	6 川の日	7 1964年：山陰北陸豪雨(金沢市、津幡町)
8	9	10 2012年：九州北部豪雨	11 2012年：九州北部豪雨	12 1993年：北海道南西沖地震(石川 県(津波による船舶被害))	13 2004年：新潟・福島豪雨(新潟 県、福島県)	14
15	16 2007年：中越沖地震 海の日	17 2006年：浸水害・山がけ崩れ害・ 土石流害(能登北部・加賀南部)	18 2009年：中国・九州北部豪雨	19	20	21 森と湖に親しむ旬
22	23	24 1958年：奥能登水害(能登北部)	25	26 2011年：新潟・福島豪雨	27	28 2008年：大雨による浅野川氾濫 (金沢市)
29	30 2014年：豪雨による広島市の土砂 災害	31				

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

7月のイベント						
	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬	6		石川県立羽咋工業高等学校 建設 造形科土木コース3年生	石川県立羽咋工業 高等学校	金沢市 加賀市	加賀拡幅湯の国橋上部工工事・大浦千木線千田高架橋工事 の施工現場を見学((一社)石川県建設業協会)
	6		石川県立羽咋工業高等学校 建設 造形科建築コース3年生	石川県立羽咋工業 高等学校	金沢市	金沢市城北市民運動公園工事・県央土木総合事務所管内工 事の施工現場を見学((一社)石川県建設業協会)
	7		高校生(全県)	石川県教育委員会	金沢市	高校生を対象とした企業ガイダンス。生徒、保護者、学校が求 人企業に関する情報を幅広く得る
	10		小松工業高等学校 建設科1年生	小松工業高等学校	金沢市	金沢外環状道路海側幹線IV工事・県央土木総合事務所管内 工事の施工現場を見学(建設科1年生)(石川県県央土木総合 事務所)
	10		小松工業高等学校 建設科2年生	小松工業高等学校	小松市 加賀市	小松人エリーフ整備及び湯の国橋工事の施工現場を見学(建 設科2年生)(国土交通省金沢河川国道事務所)
	10		小松工業高等学校 建設科3年生	小松工業高等学校	未定	現場見学会(予定)(小松能美建築士会)
中旬	10		志賀町立志賀中学校 1年生	(一社)石川県測量 設計業協会	志賀町	「測量教室体験学習」として中学1年生を対象に[経緯度と日本 の測量]の授業、[体験学習]で歩測から校舎の高さを求める体 験、ドローンによる記念撮影も行う。
	13		金沢工業大学 環境土木工学科	金沢工業大学	輪島市	H29能越道本江地区道路改良外その2工事(ICT活用工事) の現場見学((一社)石川県建設業協会 ※調整中)
	17		石川県立翠星高等学校 総合グ リーン科学科	石川県立翠星高等 学校	金沢市	県営ほ場整備(野田地区)、金沢外環状道路海側幹線IVの現 場見学((一社)石川県建設業協会)
下旬						
通年及び期間のイベント・取り組み						
通年	他	一般県民	(一社)石川県建設 業協会	FMラジオ番組(放送時間:毎月第4火曜日 18時00分~18時05分)で、建設業 界で働く方に建設業界の魅力についてインタビュー形式でお話を伺い、広く一 般の方にPR		
4~12月	他	高校生	石川県土木部	県下の高校の進路担当に対して入職協力を依頼するとともに建設業をア ピール		

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

(注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

2018

8

August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 他 <small>水の日 水の週間(8/1~7) 道路ふれあい月間</small>	2	3 <small>1965年：松代群衆地獄（長野県）</small>	4 <small>橋の日</small>
5	6	7	8	9	10 <small>道の日</small>	11
12	13	14	15 <small>2014年：浸水害・山がけ崩れ害（能登南部）</small>	16	17	18
19 <small>1964年：北美濃地震（石川県で死者等）</small>	20	21	22	23	24 <small>1953年：豪雨災害（加賀北部）</small>	25
26 <small>1959年：能登北部水害（能登北部） 2009年：豪雨（東海・関東・中国及び東北地方）</small>	27	28	29	30 <small>防災週間(8/30~9/5)</small>	31	

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

8月のイベント

	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬	1	他	H31.3大学・短大・高専・専修学校等卒業予定者、概ね35歳未満の若年者対象	石川労働局 公共職業安定所 金沢新卒応援ハローワーク	金沢市	来春の大学等卒業予定者や若年者を対象とした「いしかわ合同就職面接会」の開催(共催:石川県・金沢市)
中旬						
下旬						

通年及び期間のイベント・取り組み

通年	他	一般県民	(一社)石川県建設業協会	FMラジオ番組(放送時間:毎月第4火曜日 18時00分~18時05分)で、建設業界で働く方に建設業界の魅力についてインタビュー形式でお話を伺い、広く一般の方にPR
4~12月	他	高校生	石川県土木部	県下の高校の進路担当に対して入職協力を依頼するとともに建設業をアピール

現場見学
 一般見学
 講演・講習
 出前講座
 インターンシップ
 他 その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

平成30年度担い手確保イベント一覧表(9月度以降及び日程未定)

平成30年6月6日までの情報提供分

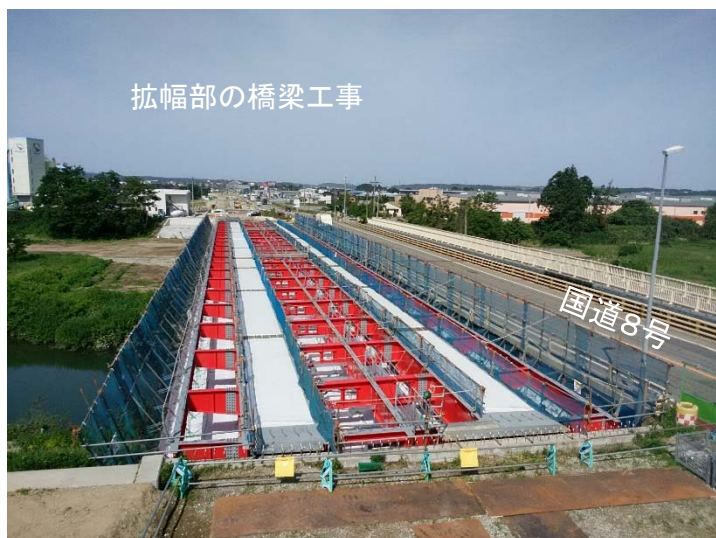
連番	取組分類	対象分類	対象名称	実施日	実施場所	予定人数	実施機関名	実施概要	連携機関名
1	現場見学	工業高等専門学校	石川工専 建築学科	未定	未定	未定	石川工専	現場見学会実施予定(6月下旬以降)	
2	現場見学	工業高等専門学校	石川工専 環境都市工学科	未定	未定	未定	石川工専	現場見学会実施予定(6月下旬以降)	
3	インターンシップ	建設系の高校	石川県立翠星高等学校	9月19日~21日	白山市	21	(一社)石川県建設業協会 石川県測量設計業協会 石川県石川農林総合事務所		
4	現場見学	大学	金沢大学	未定(9月)	未定	20~30	金沢大学	1年生を対象とした日建連の見学会	日本建設業連合会
5	その他	一般県民	一般県民	10月13日	金沢市	3200名	いしかわ全国産業フェア実行委員会 石川県教育委員会事務局	いしかわ産業教育フェア 本県の産業教育を担う高等学校に対する一般県民の理解と協力を促すとともに、中学校に進路選択のための判断材料を提供し、産業教育の一層の充実を図る。専門高校で学ぶ生徒に誇りと自信をもたせ、専門高校からの情報発信の好機とする。	石川県産業教育振興会 石川県高等学校長協会 石川県小中学校校長会
6	その他	一般県民	一般県民	10月13日	金沢市	3200	いしかわ全国産業フェア実行委員会 石川県教育委員会事務局	いしかわ産業教育フェア 本県の産業教育を担う高等学校に対する一般県民の理解と協力を促すとともに、中学校に進路選択のための判断材料を提供し、産業教育の一層の充実を図る。専門高校で学ぶ生徒に誇りと自信をもたせ、専門高校からの情報発信の好機とする。	石川県産業教育振興会 石川県高等学校長協会 石川県小中学校校長会
7	インターンシップ	建設系の高校	小松工業高等学校	10月16日~18日	小松市 加賀市	37	小松工業高等学校	小松能美建設業協会・加賀建設業協会の紹介による2年生対象	石川県建設業協会
8	現場見学	建設系の高校	石川県立翠星高等学校	12月7日	白山市	21	石川県石川農林総合事務所		
9	意見交換会	建設系の高校	小松工業高等学校	12月18日	小松市	37	石川県建設業協会	小松能美建設業協会・加賀建設業協会の紹介による2年生対象	小松能美建設業協会 加賀建設業協会
10	意見交換会	建設系の高校	小松工業高等学校	12月18日	小松市	37	石川県建設業協会	小松能美建設業協会・加賀建設業協会の紹介による2年生対象	小松能美建設業協会 加賀建設業協会
11	講演・講習	大学	金沢大学	未定(12月)	未定	70名	金沢大学	3年生を対象とした講演会	
12	講演・講習	建設系の高校	石川県立翠星高等学校	2月1日	白山市	21	白山野々市建設業協会		
13	現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	未定(2月ごろ)	未定	40	南加賀土木事務所	建設科1年対象	
14	現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	未定(2月ごろ)	未定	40	南加賀土木事務所	建設科1年対象	
15	その他(通年)	一般県民	一般県民	毎月第4火曜日	石川県	-	(一社)石川県建設業協会	FMラジオ番組(放送時間:18時00分~18時05分)で、建設業界で働く方に建設業界の魅力についてインタビュー形式でお話を伺い、広く一般の方にPR。	
16	その他(期間)	高等学校	高校生	4月~12月	石川県	-	石川県土木部	県下の高校の進路担当に対して入職協力を依頼するとともに建設業をアピール	石川県建設業協会
17	出前講座	小学校	現在選定中	調整中			(一社)石川県測量設計業協会	6月3日測量の日の開通行事として県内の小・中学校の生徒向けに「測量教室」の開催して測量業をアピール	



北陸地方整備局 現場見学会 in 石川

【技術系】受験者対象

平成30年6月22日(金) 開催



拡幅部の橋梁工事

交通混雑の緩和等を目的として整備を進めている
国道8号加賀拡幅道路事業(湯の国橋)



クルーズ船

クルーズ船受入促進に向けた岸壁整備(金沢港)

**国土交通省志望の皆様、国の大規模な現場等を見学し
現場職員の生の声を聴ける絶好の機会です！
是非ご参加下さい！**

募集案内

日時:平成30年6月22日(金) 9:00~16:30

集合場所:JR金沢駅西口(地図参照)

行程:下記参照

参加対象:国家公務員一般職【技術職】採用試験受験者

申込方法:原則メールで申込みしてください。

「現場見学会in石川 希望」と件名に記載し、
①氏名 ②電話番号 ③学校(学部・学年) ④靴のサイズ
を、kikaku@hrr.mlit.go.jp までお送り下さい。

申込締切:6月15日(金) 15:00 ※定員20名程度予定しており定員になり次第締切

服装:動きやすく、汚れてもよい服装でお越し下さい。ヘルメットはこちらで用意します。

行程

(※当日変更になる場合があります)

9:00 集合 JR金沢駅西口

午前

■大規模道路事業

[場所]加賀市内

[内容]加賀拡幅道路事業の現場見学



■まちづくりと一体となった河川整備

[場所]小松市内

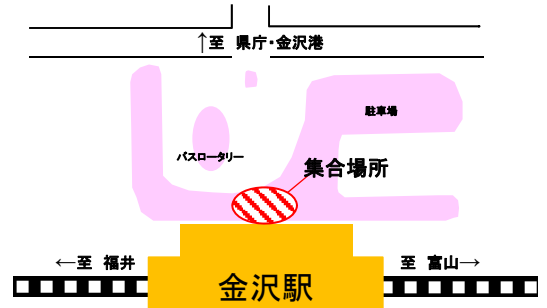
[内容]・梯川河川整備の現場見学

(小松天満宮地区)



12:15 昼食 (「徳光PA」を予定)

集合場所(金沢駅西口広場)



午後

■地域の生活を支える金沢港

[場所]金沢港

[内容]金沢港の耐震強化岸壁の現場見学



■職場見学・若手職員との意見交換会

[場所]金沢河川国道事務所

[内容]・職場見学

・若手職員との意見交換会



16:30 解散 JR金沢駅西口

問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局

企画部企画課 企画第一係 若狭(わかさ)、廣澤(ひろさわ)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1丁目1番1号

TEL:025-280-8834(内線3166、3167)

採用情報はHP「入省案内」のほか
こちらからも!



Twitter



Line

※申込後、キャンセルの場合は、必ず上記担当に連絡してください。

※申込後、申込受付完了をこちらからご連絡させていただきます。

平成 30 年度 金沢工業大学環境土木工学科 工事現場視察（反転授業）

（この授業は国土交通省北陸地方整備局のご協力により実施されます）

日 時：平成 30 年 6 月 22 日（金）8：40～17：00

参加者：金沢工業大学 環境土木工学科 1 年生 98 名，4 年生 8 名，引率教職員 3 名

講義担当：敬称略

富山河川国道事務所	事業対策官	谷口 雄一（たにぐち ゆういち）※1
	建設監督官	西村 久志（にしむら ひさし）
利賀ダム工事事務所	建設監督官	本田 正和（ほんだ まさかず）
金沢河川国道事務所	事業対策官	杉本 敦（すぎもと あつし）※2
	小松出張所長	栗本 拓也（くりもと たくや）
	建設監督官	二川 哲（ふたかわ さとし）

※1 土木工学科卒業、 ※2 土木工学科卒業

行 程

08：40 **プロジェクトデザイン入門の授業ですが、12.401 イノベーションホールに集合**

09：00～10：00 見学会に関する説明 事務所概要および工事概要について

11：00 金沢工業大学 3 号館前 出発（10 分前集合：乗車時ヘルメットを受け取ること）

A コース 1 号車（〇〇先生，〇〇先生）

（協力：富山河川国道事務所、利賀ダム工事事務所）

11:00～12:00 集合 3 号館前 バス移動（北陸道～R8）

12:00～12:40 昼食（道の駅「メルヘン小矢部」）

12:40～13:00 バス移動（能越道福岡 IC～北陸道砺波 IC～R359）

13:00～14:00 見学現場① 国道 3 5 9 号 いかるぎの大橋上部工事

14:00～14:10 バス移動（R359～道の駅「庄川」）

14:10～14:20 トイレ休憩（利賀ダム事務所の先導車合流）

14:20～14:40 バス移動（道の駅「庄川」～R156）

14:40～15:50 見学現場② 利賀ダム建設現場（利賀大橋）

15:50～17:00 バス移動（R156～北陸道）

17:00 大学 着

B コース 2 号車（〇〇先生，〇〇先生）

（協力：金沢河川国道事務所）

11:00～12:00 集合 3 号館前 バス移動（北陸道）

12:00～12:40 昼食（道の駅「こまつ木場潟」）

12:40～13:00 バス移動（R8～R360）

13:00～14:00 見学現場③ 梯川 H29-30 梯川金屋高水護岸工事

14:00～15:20 バス移動（R 8）

15:20～16:20 見学現場④ 金沢東部環状道路 神谷内道路その 2 他工事

16:20～17:00 バス移動（R159 東環～県道 22 号）

17:00 大学 着

反転学習課題

Aコース 1号車 (〇〇先生, 〇〇先生)

① 国道359号 いかるぎの大橋上部工事 (富山河川国道事務所)

- ・見学場所: 砺波市頼成地先 (大学から約40km、約50分)
- ・見学予定: 橋梁上部工 (PC中空床版橋) など

- ・学習課題: ・中空床版橋の構造及びその利点は何か
- ・中空床版橋の施工上の留意点は何か
- ・中空床版施工時における維持管理上配慮すべき点は何か

② 利賀ダム 庄川橋梁上部工事ほか (利賀ダム工事事務所)

- ・見学場所: 南砺市利賀村栃原 (大学から55km、60分)
- ・見学予定: 鋼上路式アーチ橋、床版コンクリート打設または橋面工

- ・学習課題: ・ダム役割 (目的) は何か。ダム以外の方法でその目的を達成するにはどのような方法が考えられるか (メリットとデメリットも)。
- ・ダムはどのようにつくられるのか。
- ・鋼橋 (鉄製の橋) の種類や施工方法

Bコース 2号車 (〇〇先生, 〇〇先生)

③ 梯川 H29-30 梯川金屋高水護岸工事 (金沢河川国道事務所)

- ・見学場所: 小松市金屋町 (大学から22km 40分)
- ・見学予定: 住宅脇で築堤盛土及び高水護岸工

- ・学習課題: ・治水安全度の向上を目的とした河川改修はどのようなものがあるか。その特徴は何か
- ・河道拡幅 (引き堤や河道掘削) を行う上で配慮すべき事項は

④ 金沢東部環状道路 神谷内道路その2他工事 (金沢河川国道事務所)

- ・見学場所: 金沢市神谷内 (大学から18km 40分)
- ・見学予定: ICT道路改良など

- ・学習課題: ・4車線化は、何故必要か
- ・ICT土工の手順は
- ・ICT土工の利点と今後の課題は

昨年度と同じ現場の学習課題は、昨年度と同様でも構いません。

平成30年6月1日
大臣官房技術調査課
大臣官房公共事業調査室

i-Construction ロゴマークを決定しました！

～先進的な建設現場が一目でわかりやすく～

国土交通省は、建設現場が「給与が良い・休暇がとれる・期待がもてる」、魅力ある現場に変わっていくために、自動制御可能な建設機械等の先進的な技術の導入などにより、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進しています。

この度、「i-Construction」が、建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取組へと「深化」するシンボルとして、ロゴマークを決定しました。

ロゴマーク



i-Construction

デザインメッセージ：

「革新的テクノロジーが、日本の建設現場を劇的に変えていく。
その原動力が、日本を次のステージへと推し進めていく」

使用シーン



例：ウェブサイト、建設機械やUAV、ヘルメットや作業着、
建設現場の看板や仮囲い、名刺、ポスター、チラシ、
バッジ、キーホルダー、クリアファイル など

ロゴマークが建設機械や作業着などといった、建設現場を中心としたあらゆるシーンで活用されることで、i-Constructionによって若者や女性、高齢者も働きやすくなる新しい建設現場のイメージが社会に浸透していくことを期待！

- ロゴマーク選定過程等の詳細については別紙をご覧ください。
- ロゴマークのダウンロード先や使用マニュアルについては、別途国土交通省 HP 上に掲示いたします。

問い合わせ先

大臣官房 技術調査課
建設生産性向上推進官
課長補佐

TEL：03-5253-8111 横地（内線 22308）
橋本（内線 22339）
夜間直通：03-5253-8219 FAX：03-5253-1536

平成31年3月大学・短大・高専・専修学校等卒業予定者及び若年者を対象とした
「いしかわ合同就職面接会」参加企業120社を募集します。

開催日時：**平成30年8月1日(水) 13:00～**

開催場所：**石川県産業展示館1号館**(金沢市袋島町南193番地)

平成31年3月大学等卒業予定者や若年者の就職と地元定着を促進するための就職面接会です。

面接会の概要

第1部	13:00～	各企業ブースにて、参加企業の皆様から学生等に対して、貴社の事業内容、魅力等についてPRを行う時間(15分×2回～3回程度)
第2部	14:30～16:30	面接または引き続き説明を行う時間



■参加要件

以下の1～3の要件を全て満たす事業所

- 次の①～③のいずれにも該当する求人を選考対象とする事業所であること。
 - 平成31年3月大学・短大・高専・専修学校卒業予定者又は若年者を対象とした求人であること
 - 「正社員」を募集する求人であること ※ハローワークの求人票の雇用形態が「正社員」となっているもの
 - 就業地に石川県内が含まれる求人であること ※就業地が石川県外のみの方は選考対象求人とすることができません。
- 参加申込み前に、ハローワークへ選考対象求人全てのお申込みをされている事業所であること。
- 面接会開催にかかる関係書類等の提出期日を守っていただける事業所であること。

■参加申込方法

石川労働局ホームページから、「参加申込書及びアンケート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。

お申込み方法の詳細については、
石川労働局ホームページにおいて、公開します。

<https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/home.html>

■参加決定

募集定員120社。

参加企業の決定はユースエール認定企業を優先します。

詳しくは裏面や別紙をご覧ください。

なお、ご参加いただくことが決定した企業につきましては、6月28日(木)14時以降に石川労働局ホームページに企業名を掲載させていただきます。

主催：石川労働局、公共職業安定所、金沢新卒応援ハローワーク 共催：石川県、金沢市

■お問合せ先：石川労働局職業安定課 職業紹介係 電話：076-265-4427 FAX：076-261-1407

参加申込みにあたって

お申込方法

先行受付

① ユースエール認定企業の場合

参加申込受付期間

6月19日(火)～6月20日(水)

10時から

17時まで

参加企業の決定にあたってはユースエール認定企業を優先します(制度の詳細等は別紙をご覧ください)。

② ①に該当しない企業の場合

参加申込受付期間

6月21日(木)～6月22日(金)

10時から

17時まで

募集定員(定員120社から左記①の企業からの申込数を差し引いた数)を超える参加申込みがあった場合は抽選で決定させていただきます。

1. 石川労働局HPから「参加申込書 及び アンケート」をダウンロードし、必要事項を記入(黄色セルの箇所を記入)

2. 石川労働局職業安定課あてに、「参加申込書 及び アンケート」をFAXにより申込む。

申込先: 石川労働局職業安定課職業紹介係 (FAX: 076 - 261 - 1407)

※FAX送信後、必ず電話により受付の確認を行ってください。(TEL: 076-265-4427)

不審メールによる攻撃対策の一環としてFAXにより受付させていただいております。
企業の皆様にはお手数をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

送信

送信

石川労働局

参加申込内容等について労働局が確認

参加企業の決定

6月28日(木)14時に、石川労働局HPに参加が決定した企業名を公開しますので、
ご確認ください。

お早めに

参加決定後の手続き

石川労働局HPから「企業案内」(A票及びB票の2枚)をダウンロードし、
必要事項を記入の上、郵送により石川労働局あて提出。

(7月5日(木)労働局必着)

郵送先: 〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1 金沢駅西合同庁舎5階 石川労働局職業安定課職業紹介係

「合同就職面接会」開催状況

↓ 過去に開催した面接会の様子

